

日本博総合推進会議（第４回）

議 事 次 第

日時：令和７年３月２５日（火）

１７時５５分～１８時１５分

場所：官邸４階大会議室

１ 開 会

２ 議 事

（１）「日本博 2.0」について

（２）意見交換

３ 総理発言

４ 閉 会

《配付資料》

資料１ 「日本博 2.0」について

《参考資料》

参考資料１ これまでの取組と大阪・関西万博開催年度における取組

参考資料２ 日本博総合推進会議の開催について

参考資料３ 日本博総合推進会議運営要領

「日本博2.0」について

2025年大阪・関西万博に向けて、最高峰の文化資源を更に磨き上げるとともに、戦略的なプロモーションを推進し、年間を通じてインバウンド需要に的確に応えることにより、訪日機運醸成と万博から地方への誘客を図るもの。

【実績】

- 委託型：令和7年度 67事業（令和5年度37事業、令和6年度62事業）
- 補助型：令和7年度 15事業（令和5年度11事業、令和6年度16事業）
- 参画型(令和5年度からの累積)：1,672事業（令和7年3月時点）

【プロモーション】

- ・観光庁、JNTOとの連携による海外発信
- ・ラインナップリーフレット等の作成・配布
- ・SNSやウェブサイトによる発信（英語発信）

2025年大阪・関西万博へ、「日本の美と心」を発信

1. 最高峰の文化の祭典

伝統芸能、舞台芸術、音楽、メディア芸術、アートなどから厳選、国内外へ発信

2. 地域の魅力を総動員

文化×農泊×食×交通×宿×自然×スポーツ×交流×学びetc を磨き上げ「広がり」と「奥行き」を持った真に満足出来る観光、地域のファン作り

3. 最先端のバーチャル体験

アフターコロナを見据えてリアルとバーチャルを融合、メタバース、NFT等の先端技術を活用した、ボーダーレスで新しい鑑賞・体験

4. 若い力で未来を拓く

未来を生きる若者が参加、障害者芸術・多文化共生の推進
若者目線で、未来に持っていきたいものを創造し、鑑賞し、考える

5. ソフトパワーで日本の心を発信

海外アーティスト、文化施設等と連携して協調・交流の促進
インバウンドを含め、海外の人へ日本の美・心を伝える

2025年大阪・関西万博を機に
全国展開

第3回「日本博総合推進会議」資料より

取組例

1.最高峰の文化の祭典

外国人のための能楽鑑賞教室
Discover NOH & KYOGEN

「外国人のための能楽鑑賞教室 Discover NOH & KYOGEN」を、バイリンガル狂言師による英語解説交えながら、代表的な演目をコンパクトに上演。



2.地域の魅力を総動員

三陸国際芸術祭

三陸各地で行われる芸能催事について、各地の文化観光資源と共に紹介するプロジェクト。モデルプラン等を日英2か国語で発信。



©三陸国際芸術祭

3.最先端のバーチャル体験

歌舞伎座ギャラリーを拠点とした歌舞伎の理解促進、満足度向上事業

歌舞伎座ギャラリーの多言語化対応を行うと共に、歌舞伎鑑賞の魅力や楽しみ方を分かりやすく紹介する映像コンテンツを歌舞伎座ギャラリー内のホールで上映。



4.若い力で未来を拓く/多文化共生

障害者の文化芸術創造拠点形成プロジェクト

国内外の振付家、演出家、アーティスト等による体験型ワークショップを開催し、障害のある人や外国人、開催地域との文化交流を図り、多様な人や文化の共生を促す取組を実施。



©富田 了平

5.ソフトパワーで日本の心を発信

円谷プロと連携した『ウルトラマンの聖地 福島県須賀川市インバウンド誘客促進事業』

海外でも人気の高いウルトラマン生み親の円谷プロと須賀川市が作り上げる「空想」の町へ、訪日外国人を誘客し、地域の文化資源を活用したコンテンツをインバウンド向けに磨き上げる。



大阪・関西万博本番年の取組

万博と連動した取組

大阪万博記念公園 MUSIC LOVES ART

日本最大級の都市型音楽フェスティバル「SUMMER SONIC」において音楽とアートの融合によるプロジェクトを実施



文化庁と関西経済連合会等 との共同宣言に基づく連携

官民一体オール関西で文化芸術立国の実現に向けて宣言(2023.7)



公式HP/SNS



プロモーション

ポスター掲示や出張PR

万博観光ポータルサイト掲載



MUSIC AWARDS JAPAN

2025年5月に京都ロームシアターでMUSIC AWARDS JAPANを開催。



音楽人5000人が選ぶ、国際音楽賞。

MUSIC WAY
PROJECT



万博会場内での催事開催

大阪・関西万博会場内において、伝統芸能や障害者芸術等の催事を実施

【能楽】未来につなぐ、能楽の世界

【文楽】体感！文楽の世界

【組踊】琉球祭 Ryukyu Festival

【障害者芸術】障害者の文化芸術国際フェスティバル

Dance Drama "Breakthrough Journey"



©富田 了平



©Chikara Kuriyama

全国的な取組

2025年大阪・関西万博に向けて、最高峰の文化資源を更に磨き上げるとともに、戦略的なプロモーションを推進し、年間を通じてインバウンド需要に的確に応えることにより、訪日機運醸成と万博から地方への誘客を図るもの。



「日本博2.0」

これまでの取組と「大阪・関西万博」開催年度における取組

令和7年3月



これまでの取組

1. 最高峰の文化の祭典

外国人のための伝統芸能鑑賞教室

日本の伝統文化に触れられるよう、インバウンド向けの多言語解説や各種伝統芸能についての体験プログラムを実施。



国立能楽堂



国立文楽劇場



歌舞伎座



笑楽座



国立劇場おきなわ



全国の美術館・博物館の磨き上げ

美術館・博物館等における作品等の多言語対応やインバウンド向けの解説ツアーなどを実施。



東京国立博物館



国立科学博物館



国立新美術館



山種美術館



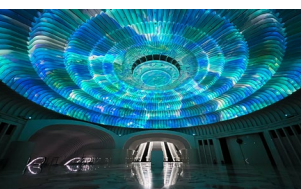
東京国立近代美術館



日下部民藝館



金沢21世紀美術館



MOA美術館



奈良国立博物館



丸亀市猪熊弦一郎現代美術館



島根県立石見美術館



竹中大工道具館

バックステージツアー

オペラ等の日英語字幕上演に加え、公演終了後、舞台裏を見学するとともに、大ホールで着付けや振付を体験する事業を実施。



二期会オペラ (写真提供：公益財団法人東京二期会)



新国立劇場

演劇祭

日本の演劇を世界の人々に知ってもらうため、多言語対応や観劇終了後の演者との交流イベントなどを実施。



SCOT/公益財団法人利賀文化会議



SPAC/公益社団法人静岡県舞台芸術センター ©Yasuo Inokuma

2.地域の魅力を総動員

全国各地の芸術祭

三陸国際芸術祭
岩手県／三陸国際芸術推進委員会



©三陸国際芸術祭

アースセレブレーション
新潟県／アースセレブレーション実行委員会



さどの島銀河芸術祭
新潟県／さどの島銀河芸術祭実行委員会



さどの島銀河芸術祭2024メインビジュアル(能面+鬼)
デザイン=宇川 直宏

BIWAKOピエンナーレ
滋賀県／BIWAKOピエンナーレ実行委員会



あしたの畑
京都府／NPO法人TOMORROW



京丹後の風景 写真：森川昇

地域の魅力発信

GO FOR KOGEI
石川県・富山県／認定NPO法人趣都金澤



館鼻則孝《デザインペインティング
"雲龍図"》2024年



葉山有樹《双竜》
2023年 Photo:Watanabe Osamu

養老鉄道と沿線の文化
岐阜県・三重県／株式会社日本旅行



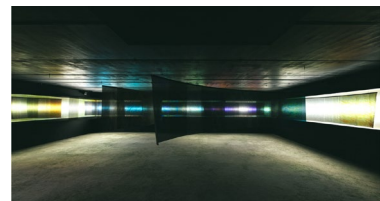
「Tunnel of Light」
マ・ヤンソン _ MADアーキテツ
(photo Nakamura Osamu)

3.最先端のバーチャル体験

西陣織とデジタルアート

HOSOO GALLERY

日本庭園をテーマに生み出された、織物、映像、音からなる総合的なインスタレーションを公開。



落合陽一x日本フィルハーモニー交響楽団

公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

万博テーマ事業プロデューサーの落合陽一氏が音楽家と共に舞台上で、生成AIによるライブ演出で、佐渡の鬼太鼓やクラシックの生演奏と共演。

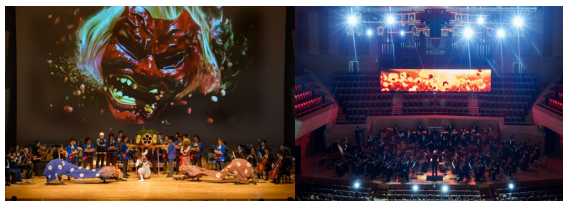


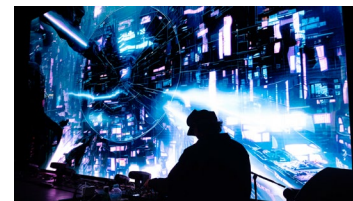
Photo by Kazuaki Hiraga

©飯田 耕治

MUTEK.JP

一般社団法人MUTEK Japan

WEB3、AI等の最新技術をテーマに、電子音楽とデジタルアートの融合によるライブ等を実施。



東映太秦映画村

株式会社東映京都スタジオ

東映太秦映画村を人気ゲーム「Fortnite」で再現し、新たな体験を提供。



4.若い力で未来を拓く

障害者の文化芸術創造拠点形成

ビッグ・アイ協働機構

国内外の振付家、演出家、アーティスト等による体験型ワークショップを開催し、多様な人や文化の共生を促す取組を実施。



©富田 了平

文化芸術ユニバーサル・ツーリズム

一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会

障害者芸術の鑑賞機会の創出促進、合理的配慮の提供、ユニバーサルツーリズムを磨き上げ、誰もが、いつでも、どこでも、障害者の文化芸術にアクセスできる環境を整備。

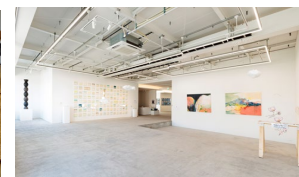
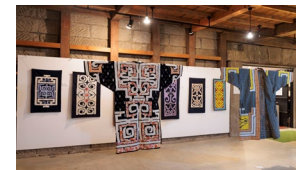


©Chikara Kuriyama

ROOTS & ARTS SHIRAOI

白老文化観光推進実行委員会

白老町の多文化共生の理念を重視しながら、産業、食、自然、アイヌ文化等、地域資源が豊富な白老町独自の文化観光を促進。



5.ソフトパワーで日本の心を発信

福島県須賀川市 インバウンド誘客促進事業

福島県須賀川市／株式会社日本旅行

特撮の神様と称される円谷英二氏の出身地である福島県須賀川市に置いて、ウルトラマンを用いて地域活性化に貢献。



Pop Over Musashino Vol.2

(株)KADOKAWA

ポップカルチャーと地域文化の融合による周遊型アートフェスティバルを実施。



日本音楽文化の付加価値向上事業

カルチャーアンドエンターテインメント産業振興会

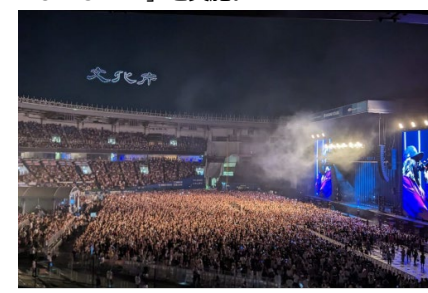
2025年5月に開催予定の「MUSIC AWARDS JAPAN」を起点として、訪日外国人観光客を周辺エリアへの回遊を促す取組を実施。



音楽とアートの融合

MUSIC LOVES ART

日本最大級の都市型音楽フェスティバル「SUMMER SONIC」大阪会場等において、音楽とアートの融合プロジェクト「MUSIC LOVES ART」を実施。



「大阪・関西万博」開催年度における取組

❖大阪・関西万博の本番に向けて、最高峰の文化資源を更に磨き上げるとともに戦略的なプロモーションを推進し、年間を通じてインバウンド需要に的確に応えることにより、訪日機運の醸成と万博から現地への誘客を図る。

その他（全国展開）



全国手をつなぐ育
成会連合会



国立公園の文化資源
発信プロジェクト

国立公園の文化資源発信
プロジェクト、DESIGN
MUSEUM JAPANプロジェクト、
全国手をつなぐ育成会連合会、
全国街道交流会議、全国地
域生活支援ネットワーク

北海道

東北



ルーツ&アーツ
しらおい



三陸国際芸術祭
2025醸ス

ROOTS&ARTS SHIRAOI、
三陸国際芸術祭、みちのく潮風
トレイル、ウルトラマンの聖地・須
賀川



みちのく
潮風トレイル
Photo:Koji Iwama

関東

国立劇場、新国立劇場、国立能楽堂、東京国立博物館、国立科学博物館、歌舞伎座、日本
舞台芸術振興会、山種美術館、国立新美術館、東京国立近代美術館、東京クワイエティサロン
実行委員会、東京芸術祭、TOPPAN（東武山 寛永寺）、アニメ&まんが聖地EXPO、マンガの
聖地としまキワ荘通リインバウンド活性化、ショートショートフィルムフェスティバル&アジア、SHIBUYA CREATIVE TECH、能楽協会、
POM展（KADOKAWA）、大日本弓馬会、日本通産「京都物語」推進協議会、笑楽会、MUTEK.JP、東京ビエンナーレ、日本フィ
ルハーモニー交響楽団、東京二期会、角川文化振興財団



国立能楽堂



能楽協会



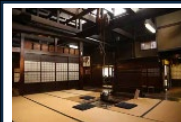
新国立劇場



笑楽座

東海

静岡県舞台芸術センター、MOA美術館、
静岡県、養老鉄道、日下部民藝館



日下部民藝館



静岡県舞台芸術
センター
©Y.Inokuma



MOA美術館

北陸・甲信越

金沢21世紀美術館、利賀文化会議、GO FOR KOGEI、大地の芸術
祭、さとの島銀河芸術祭、お熊甲仲旗祭、アース・セレブレーション



大地の芸術祭

「Tunnel of Light」
マ・ヤンソン、MADアーキテクト
(photo Nakamura Osamu)



GO FOR KOGEI



金沢21世紀美術館

オラファー・エリアソン「カラー
アクティビティ・ハウス」2010
© 2010 Olafur Eliasson
金沢21世紀美術館蔵
撮影：木奥三
写真提供：金沢21世紀美術館

関西

東映太秦映画村、あしたの畑、MUSIC AWARDS JAPAN、細見美
術館、国立文楽劇場、山本能楽堂、MUSIC LOVES ART、クワイ
エティアイランド中之島、ビッグ・アイ共働機構、大阪・関西万博 能楽の
魅力を発信する会、奈良県、奈良国立博物館、読売新聞大阪本社（興福寺）、BIWAKOエンナーレ、豊
岡演劇祭、文化体験岡崎2025、Art Collaboration Kyoto、毎日新聞社（姫路市立美術館）、日本国
際芸術祭、竹中大工道具館、大阪市博物館機構（6館）、京都観世会、KYOTOGRAPHIE 京都国際写真
真祭、株式会社細尾、Osaka Art & Design 2025、大阪文化芸術事業実行委員会



ビッグアイ共働機構



山本能楽堂

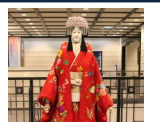


竹中大工道具館

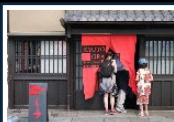


東映太秦映画村

京都キムライ体験
©東映太秦映画村



国立文楽劇場



KYOTOGRAPHIE
京都国際写真真祭

中国・四国・九州

島根県立石見美術館、瀬戸芸美術館連携プロジェクト、丹下
健三建築群、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、進撃の日田ま
ちおこし協議会、琉球焼酎・日本遺産人吉球磨、アートフェア
ジア福岡



Photo by Yoshiro
Masuda

丸亀市猪熊弦一郎
現代美術館



丹下健三建築群



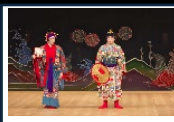
進撃の日田
まちおこし協議会
©篠山創/講談社
©進撃の日田まちおこし協議会



琉球焼酎・日本遺産
人吉球磨

沖縄

国立劇場おきなわ、
琉球海炎祭WINTER2025



国立劇場おきなわ



琉球海炎祭WINTER
2025

大阪・関西万博

「大阪・関西万博」開催年度における取組

2025年4月

伝統と最先端が交差する写真の祭典 KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭2025

場所	京都府京都市内
主催	一般社団法人KYOTOGRAPHIE



京都 2025 4月 ▶

「高田賢三展 パリに燃ゆ、永遠の革命児」

場所	姫路市立美術館(兵庫県)
主催	株式会社毎日新聞社



撮影:高橋健治

兵庫 2025 4月 ▶

さどの島銀河芸術祭

場所	新潟県佐渡島
主催	さどの島銀河芸術祭実行委員会



できやよい(日本)
どんがらこっことんがらこっこ

新潟 2025 4月 ▶

2025年5月

大阪アート&デザイン2025

場所	大阪府大阪市内各地
主催	Osaka Art & Design2025実行委員会



Osaka Art & Design2024(実績)
NUNO(須藤玲子) / we+ NUNO x we+
テキスタイルインスタレーション
高島屋大阪店

大阪 2025 5月 ▶

琉球祭

場所	万博催事場(ポップアップステージ南)
主催	公益財団法人国立劇場おきなわ財団



沖縄 2025 5/4 ▶ 5/6

MUSIC AWARDS JAPAN

場所	ロームシアター京都(京都府)
主催	一般社団法人カルチャーアンドエンタテインメント



京都 2025 5/17 ▶ 5/23

2025年6月～7月

アートに境界はない、心でつながる世界へ BiG-I Project～共通感覚を拡げて～

場所	万博催事場(ギャラリーWEST)
主催	国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)



大阪 2025 6/1 ▶ 6/4

未来につなぐ、能楽の世界

場所	万博催事場(EXPOホール)
主催	公益社団法人能楽協会



京都 2025 7/13 ▶ 7/14

2025年8月

「演劇の聖地利賀」を世界へ

場所	富山県利賀エリア
主催	公益財団法人利賀文化会議



富山 2025 8月 ▶

「人間浄瑠璃文楽」ミニ公演と 「文楽の世界」展示

場所	万博催事場(ギャラリーEAST)
主催	国立文楽劇場



大阪 2025 8/13 ▶ 8/18

MUSIC LOVES ART

場所	万博記念公園(大阪府) 及び吹田市各所他
主催	株式会社SIGNING



大阪 2025 8月

「大阪・関西万博」開催年度における取組

2025年9月

アイヌ文化とアートの融合 ROOTS & ARTS SHIRAOI 2025

場所 北海道白老町各所
主催 白老文化財観光推進実行委員会



北海道
2025
9月 ▶

三陸ブランディング創生事業 三陸国際芸術祭

場所 三陸沿岸エリア
主催 三陸国際芸術推進委員会



©三陸国際芸術祭

岩手
2025
9月 ▶

五感で味わう歌舞伎の魅力 歌舞伎座ギャラリー「特別企画展」

場所 歌舞伎座ギャラリー(東京都)
主催 松竹株式会社



大阪
2025
9月 ▶

「ART FAIR ASIA FUKUOKA」

場所 福岡アジア美術館(福岡県)
主催 一般社団法人アートフェアアジア福岡



葉山有樹《双竜》
2023 Photo:Watanabe Osamu

福岡
2025
9月 ▶

文化観光都市「TOYOOKA」 持続可能な国際モデルの構築

場所 兵庫県豊岡市
主催 豊岡演劇祭実行委員会



兵庫
2025
9月 ▶

水上に舞う伝統美 幻想的な能船の世界へ

場所 大阪府道頓堀戎橋周辺
主催 大阪・関西万博能楽の魅力を発信する会



大阪
2025
9月 ▶

見て触れて感じる、工芸の最前線 GO FOR KOGEI 2025

場所 富山県、石川県
主催 認定NPO法人趣都金澤



石川
2025
9月 ▶ 10月

国際芸術祭「BIWAKOビエンナーレ」流転

場所 滋賀県近江八幡市
主催 BIWAKOビエンナーレ実行委員会



滋賀
2025
9月 ▶ 11月

2025年10月

違いを超えて心を動かすステージ Dance Drama Breakthrough Journey

場所 万博催事場(EXPOホール)
主催 国際障害者交流センター(ビック・アイ)



©高田 了平

大阪
2025
10/7

障害者の文化芸術国際フェスティバル

場所 万博催事場(EXPOホール)
主催 一般社団法人をつなぐ育成会連合会



©Chikara Kuriyama

大阪
2025
10/8 ▶ 10/10

養老鉄道と沿線地域の文化資源磨き上げ事業

場所 岐阜県養老町～三重県桑名市
主催 養老鉄道株式会社



岐阜
2025
10月

「大阪・関西万博」開催年度における取組

2025年11月～12月

伝統と革新が奏でる美の交響曲
MOA美術館「工芸ダイニング」

場所 熱海MOA美術館(静岡県)
主催 公益財団法人岡田茂吉美術文化財団

静岡
2025
11月



想像の力が交差する、熱狂が生まれる
アニメ＆聖地EXPO2025

場所 東京都豊島区、豊島区立中池袋公園他
主催 一般社団法人アニメツーリズム協会

東京
2025
11月



進撃の巨人 in 日田

場所 大分県 日田市
主催 進撃の日田まちおこし協議会

大分
2025
12月 ▶



©藤山創/講談社
©進撃の日田まちおこし協議会

2026年1月～2月

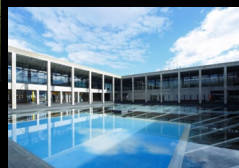
大地の芸術祭 越後妻有の冬2026

場所 新潟県十日町市、津南町エリア
主催 十日町市

新潟
2026
1月 ▶ 3月



「Tunnel of Light」
マキヤンソン MADアーキテクト
(photo Nakamura Osamu)



レアンドロ・エルリッヒ
「Palimpsest 空の池」
Photo by Kioku Keizo

クリエイティブテック渋谷
アートとテクノロジーの祭典

場所 渋谷駅周辺エリア
主催 SHIBUYA CREATIVE TECH実行委員会

東京
2026
2月



2026年3月

Pop Over Musashino
ポップカルチャーをテーマとした武蔵野回廊プロジェクト

場所 埼玉県所沢市周辺
主催 株式会社KADOKAWA

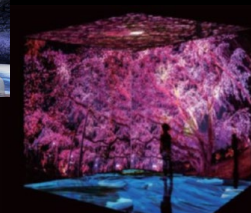
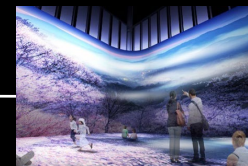
埼玉
2026
3月



東京国立近代美術館×TOKYO CREATIVE SALON
日本美術の拡張体験による来客促進事業

場所 東京都
東京国立近代美術館
・東京クリエイティブサロン実行委員会

東京
2026
3月



「大阪・関西万博」開催年度における取組

美術館・博物館等の取組～

千駄ヶ谷・国立能楽堂から世界へ

場 所	国立能楽堂(東京都)
主 催	独立行政法人日本芸術文化振興会



東京

「笑い」が繋ぐ大衆芸能 笑楽座2025

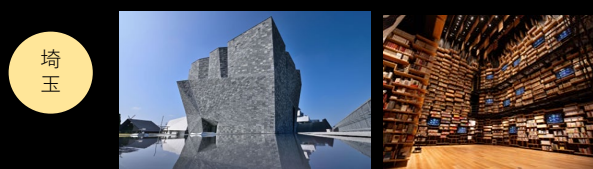
場 所	神田明神笑楽座(東京都)
主 催	公益社団法人落語芸術協会



東京

昭和100年を契機とした 角川武蔵野ミュージアムの磨き上げ

場 所	武蔵野ミュージアム(埼玉県)
主 催	公益財団法人角川文化振興財団



埼玉

©角川武蔵野ミュージアム

世界に拓かれた、未来を映す美の舞台 金沢21世紀美術館

場 所	石川県金沢市
主 催	公益財団法人金沢芸術創造財団



石川

オファー・エリアス 《アール・オブ・アイス》2010
©2010 Olafur Eliasson
金沢21世紀美術館蔵
撮影:木奥忠三 写真提供:金沢21世紀美術館

リンド・ロバート 《インシグナ》2004
金沢21世紀美術館蔵
撮影:渡邊修 写真提供:金沢21世紀美術館

重要文化財日下部家住宅の磨き上げ

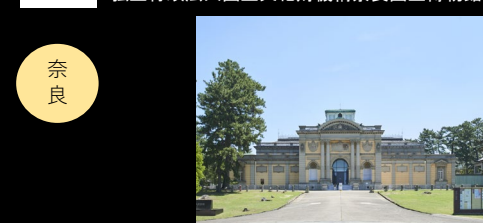
場 所	岐阜県高山市内
主 催	公益財団法人日下部民芸館



岐阜

仏像が語る仏教美術 奈良国立博物館

場 所	奈良国立博物館(奈良県)
主 催	独立行政法人国立文化財機構奈良国立博物館



奈良

瀬戸内国際芸術祭2025広域連携事業 「瀬戸芸美術館連携」プロジェクト

場 所	瀬戸内エリア
主 催	公益財団法人福武財団



香川

世界に誇る日本の匠技 伝統の道具が紡ぐ 未来への物語を体感せよ 竹中木工道具館

場 所	兵庫県神戸市
主 催	公益財団法人竹中木工道具館



兵庫

©竹中木工道具館

開館20周年を契機とする 島根県立石見美術館の磨き上げ

場 所	島根県立石見美術館(島根県)
主 催	島根県



島根

写真提供:島根県立石見美術館

写真撮影:益田工房
写真提供:島根県立石見美術館

日本博総合推進会議の開催について

平成 30 年 12 月 25 日
内閣総理大臣決裁
令和 2 年 3 月 10 日
一部改正
令和 4 年 5 月 9 日
一部改正
令和 7 年 3 月 24 日
一部改正

1. 趣旨

2025 年日本国際博覧会の機運醸成やインバウンド需要回復、国内観光需要の一層の喚起を目指しつつ、日本の美を体現する我が国の文化芸術の振興及びその多様かつ普遍的な魅力を発信する日本博の具体化及び開催準備等に係る審議を行うため、日本博総合推進会議（以下「推進会議」という。）を開催する。

2. 構成

推進会議の構成は、別紙のとおりとする。ただし、議長は、必要があると認めるときは、関係者に出席を求めることができる。

3. その他

- (1) 推進会議の庶務は、関係行政機関の協力を得て、内閣官房において処理する。
- (2) 前各項に定めるもののほか、推進会議の運営に関する事項その他必要な事項は、議長が定める。

(別紙)

議長	石破 茂	内閣総理大臣
議長代理	林 芳正	内閣官房長官
議長補佐	青木 一彦	内閣官房副長官
構 成 員	伊東 良孝	国際博覧会担当大臣
	城内 実	内閣府特命担当大臣（クールジャパン戦略）
	岩屋 毅	外務大臣
	あべ 俊子	文部科学大臣
	武藤 容治	経済産業大臣
	中野 洋昌	国土交通大臣
	都倉 俊一	文化庁長官
	片岡 真実	森美術館館長
	齋藤 精一	パノラマティクス主宰
	島谷 弘幸	独立行政法人国立文化財機構理事長 皇居三の丸尚蔵館長
	橋本 麻里	学芸プロデューサー

平成 30 年 12 月 26 日

日本博総合推進会議運営要領

日本博総合推進会議（以下「総合推進会議」という。）の運営については、この運営要領の定めるところによるものとする。

1. 総合推進会議は非公開とし、会議終了後、議事要旨及び総合推進会議で配布された資料を速やかに公表する。ただし、議長が特に必要と認めるときは、議事要旨又は配布資料の全部又は一部を公表しないものとすることができる。
2. 総合推進会議終了後、原則として、総合推進会議の事務局が記者ブリーフを行い、議事内容を説明するものとする。